

開設科目名	科目：地域居住学										担当教員：中山 徹							
開 講 期	後期			授業方法：講 義				単位数：2単位				週時間：2時間						
対 象 学 生	2回生			科目番号：065220														
授業の概要	地域で暮らすために何が必要なのかを考える。最初に、子育てしやすいまち、高齢者が暮らしやすいまちの条件を考える。次に、まちづくりの方法として公共事業を取り上げ、公共事業の実態をふまえた上で、公共事業のあり方を考える。さらに、地域の要素としての商店街を取り上げ、商店街の現状をふまえた上で地域社会にとって商店街はどのような意味を持つのか、商店街活性化の方策を考える。また、諸外国で取り組まれている環境再生を紹介しながら、地域にとっての環境を考える。以上のようにいくつかの側面から、地域で暮らすことの意味を考える。 毎回、授業の中間時に質問用紙を配る。そこに、わからなかった点、補足説明してほしい点、疑問に思った点などを書いてもらい、授業終了までに答える。 おおむね3回の授業に対してレポートを1課題出す。各自で定められたルートに従って町を歩きレポートにまとめる場合と、書籍などを読んでレポートにまとめる場合の二通りがある。																	
学 習 ・ 教 育 目 標	(1) 少子化社会にふさわしいまちづくりについて理解する。 (2) 高齢化社会にふさわしいまちづくりについて理解する。 (3) 公共事業の現状と課題について理解する。 (4) 商店街の現状と課題について理解する。 (5) 環境再生の現状について理解する。 (6) 地域で暮らすことの意味について関心を持つ。																	
	対応表	A			B		C				D			E		F		
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
						○					◎		○					
キーワード	少子化、高齢化、人口減少、公共事業、商店街、環境再生																	
授 業 計 画	(1) 少子化の実態とまちづくりの課題（授業回数3回） 日本で進んでいる少子化の実態、少子化対策、諸外国の動向など。 その上で、子育てしやすいまちづくりについて説明する。 保育所・幼稚園・認定こども園・子育て支援センター・ファミリーサポートセンターなど (2) 高齢化の実態とまちづくりの課題（3回） 日本で進んでいる高齢化の実態、介護保険、諸外国の動向など。 その上で、高齢者の住みやすいまちづくり、自宅で住み続けられるまちづくりについて説明する。 各種介護施設・サービス、日常生活圏、地域包括支援センターなど。 (3) 公共事業の実態と課題（3回） 公共事業の実態を通じて、まちづくりのあり方について考える。 日本の公共事業の特徴、問題など。その上で、公共事業をどのように改善すべきかを説明する。 また、公共事業をめぐる不正、談合などについて解説する。 (4) 商店街の現状と地域活性化（3回） 商店街を現状を通じて、地域のあり方について考える。 商店街の実態、商店街活性化の取り組みなど。 (5) 地域環境の現状と環境の再生（3回） 地域環境の実態を通じて、環境再生について考える。 日本及び諸外国の環境再生について。																	

教科書	なし							
参考書	授業中に指示する							
成績 評価方法	レポートによる							
評価割合	定期試験 (中間・ 期末試験)	小テスト・ 授業内 レポート	宿題・授業 外レポート	授業態度・ 授業への 参加度	受講者の 発表 (プレゼン)	出席		合計
	%	10%	90%	%	%	%	%	100%
備考	A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容について住環境学科のホームページを参照のこと。 シラバスの詳細、参考文献、レポート課題等についてはHPを参照 http://www.nara-wu.ac.jp/life/resed/nakayama/welcome.htm nakayama@cc.nara-wu.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日の11時							